

1. 「人にやさしいまちづくり」の推進を

2019年にスタートした第五次開成町総合計画後期基本計画により、将来都市像の実現に向けた様々な取り組みが進められる。

この計画の基本姿勢は、人口の増加傾向と年少人口の割合が高いという状況を捉え、子どもたちが大人になっても住み続けたいと思えるまちづくりを進めていくことと認識しています。

また、町長は先の選挙において、“住みたい、住み続けたい、訪れたい”をスローガンとした。

しかし、まちづくりの現状を見てみると、開成駅に急行停車が停まり、新庁舎建設が順調に進められているという“変化”こそあるが、もう少し町民の皆さんの目線に立ち、一工夫あればより施策が生きて、“人にやさしいまちづくり”が展開されるのではと感じている。

そこで公約に掲げられたように、この町に住みたい、暮らしたいと思えるまちづくりの考え方や方向性について、次の事項について問う。

- ① 町の玄関口である開成駅前の噴水及び花壇の現状と課題は。
- ② 人にやさしい巡回バス運行のために、バス停にベンチ設置の考えは。